

導電性織物デバイスとRSNPを用いた ヒューマンセンシングシステム

松前孝(中京大学)

山本悠策(中京大学)

加納政芳(中京大学)

柴田和明(シバタテクノテキス(株))

松本正義(木曾川商工会)

田中明人(木曾川商工会)

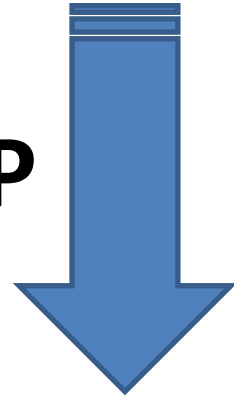
システムの概要図

Subject



Robot

RSNP



Observer



WebAccess



Server

- ① ロボット側で導電性織物デバイスに触った回数を数え、その回数画像として記録し定期的にサーバ側へ送る。
- ② サーバ側で送られてきた画像をWEBブラウザで見られるようにする。
- ③ 観測者がWEBブラウザを用いてサーバへアクセスし画像の閲覧を行う。

本システムの特徴

- 導電性織物デバイスを用いることで、プライバシーに配慮しつつセンシングができる
 - 「触る」という行動に対してのみセンシングできるので使用に抵抗感が少ない
- センシングの結果からある程度の行動の推測ができる
 - 離れて暮らすお年寄りを遠隔地から見守ることができる



Touch



導電性織物デバイス



サーバ画面